

姫路市埋蔵文化財センター開館20周年記念展

綺羅、宮山古墳

煌めく副葬品にみる被葬者の姿

我らが至宝。
ここにあり。

2025.

10.5

SUN.

SUN.

12.21



姫路市埋蔵文化財センター

Himeji City Archaeological Research Center

〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元414番地1

TEL / (079)252-3950 FAX / (079)252-3952

姫路市埋蔵文化財センター開館 20 周年記念展

綺羅、宮山古墳

煌めく副葬品にみる被葬者の姿

2025.
10.5
SUN. — 12.21
SUN.

姫路市埋蔵文化財センターは、本年 11 月に開館 20 周年を迎えます。これを記念して、国の重要文化財に指定されている宮山古墳出土品を 10 年ぶりに展示します。

宮山古墳は、当センターに隣接する古墳時代中期の円墳です。3 基の埋葬施設から見つかった出土品は、金垂飾付耳飾や銀錯貼金環頭大刀をはじめとして、朝鮮半島からもたらされたとみられる貴重な遺物が多いことで知られています。20 年前には国を代表する考古資料のひとつとして、ドイツでも展示されました。

この機会に、姫路の至宝を是非ご覧下さい。



銀錯貼金環頭大刀 環頭部分

開館 20 周年記念講演会

「宮山古墳の被葬者はいかなる人物か？」

— 副葬された金工品の系譜を追う —

宮山古墳に副葬された金工装飾品はどこで製作されたのか？古墳から出土した金工品の編年と系譜的分析を基に、倭と朝鮮半島諸国の地域間交渉を考える最新の研究成果から、宮山古墳の被葬者像に迫るご講演をいただきます。

講 師：金 宇大氏（滋賀県立大学准教授）

日 時：11月9日（日） 13:30～15:00

参 加 費：無料

場 所：姫路市埋蔵文化財センター 研修室

申込期間：10月7日（火）～10月20日（月）必着

※駐車場に限りがあるため、できるだけ公共交通機関による来館をお願いします。

事前
申込

定員
60人



垂飾付耳飾と玉類

宮山古墳武人シリーズ②

武人愛用の剣（ぶじんあいようのけん）

宮山古墳に葬られた武人が愛用した剣をモチーフに、精巧なミニチュアを厚紙で製作します。

日 時：12月7日（日） 10:00～12:00

参 加 費：1人1,000円

場 所：姫路市埋蔵文化財センター 研修室

申込期間：11月5日（水）～11月17日（月）必着

※応募多数の場合は抽選となります。

※刃物等を使って細かい作業を行います。概ね15歳以上の方を対象とします。

※1通あたり1名様のみのお申込みとなります。

事前
申込

定員
10人



短甲・衝角付冑

展示解説

10月5日（日）
11月22日（土）
12月20日（土）

10:30～ / 13:30～
（各回1時間程度）

参 加 費：無料

場 所：姫路市埋蔵文化財センター展示室

当日
受付

定員
20人



姫路市埋蔵文化財センター

Himeji City Archaeological Research Center

〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元414番地1

TEL / (079)252-3950 FAX / (079)252-3952

開館時間 / 10時～17時（入館は16時30分まで） 観覧料 / 無料

休館日 / 毎週月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日（土曜日・日曜日は開館）

